

「魅力あるコミュニティづくりのヒント」の概要

報告書のポイント

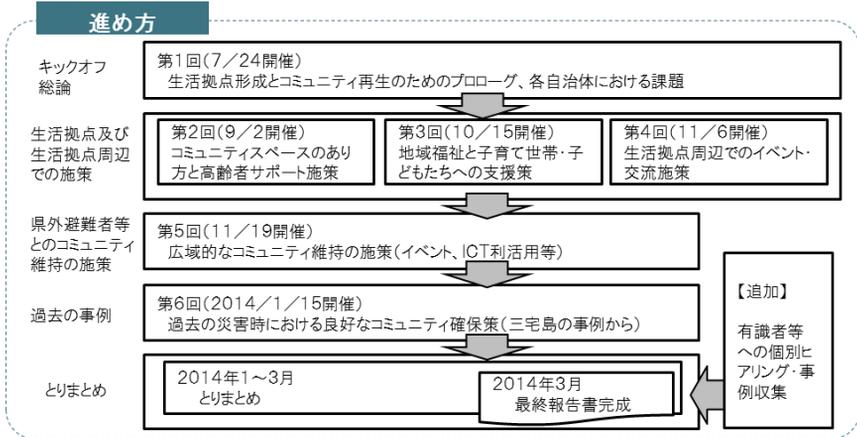
- ◆ 長期避難者等の生活拠点形成にあたっては、復興公営住宅整備のみならず、良好なコミュニティを確保するための施策の重要性にも着目し、避難元市町村、受入市町村、福島県、国が、参加する研究会を設置。有識者を交えて議論し、その結果をとりまとめ。
- ◆ 「復興公営住宅整備への住民参画」「福祉・子育て世帯の拠点づくり」「周辺住民や地域との交流」等のテーマごとに、コミュニティ維持・形成に係る課題、方策、想定される事業例を整理
- ◆ より具体的に事業がイメージできるよう、各テーマごとの先行事例を記載
- ◆ 今後、受入市町村ごとに開催している個別部会での協議を通じて、具体的な事業の実施に結び付けていく

報告書の概要

◆ コミュニティ研究会の目的・進め方

避難者等の生活拠点においては、将来的な帰還に向け、避難者の良好なコミュニティの確保に努めていくことが重要な課題。

そのため、本研究会において、避難元市町村、受入市町村、福島県、関係省庁によって、有識者等の意見を聴取しながら、ハード・ソフト両面にわたって検討した。



◆ コミュニティ維持・形成に向けた施策の方向性

コミュニティ維持・形成にあたっての課題、課題解決のための狙い・方策、想定される事業例について、以下の項目ごとに整理し、とりまとめ。

1. 復興公営住宅整備
 - (1) 住民参画によるコミュニティ維持・形成
 - (2) 住戸配置と入居構成
 - (3) 小さな共用スペース
2. 生活拠点内外での拠点づくり
 - (1) 福祉・子育て拠点
 - (2) 地域との交流
 - (3) 一時宿泊機能
3. コミュニティ活動
 - (1) 支援組織、体制
 - (2) 活動内容
4. ICTの利活用
5. 長期間のコミュニティ維持の工夫

◆ コミュニティ維持・形成の先行事例

研究会で提示された事例や、全国各地で取り組まれている優良事例を紹介。

富山市シルバー情報サポータの活動

大学生も参加し、高齢者はICTを学ぶ一方で、高齢者の豊かな社会経験を生かして大学生を育てる役割づくりにも役立っている。



歴史や震災の集落誌づくり

復興支援員協力のもと、住民主導で集落誌(歴史、震災の経験のまとめ)づくりが進められ、住民間のつながりが強まるとともに、移転先においても、その関係が継続されるという効果が見られた。

